

2007 年
冬号

YUTOROGI quarterly

January 5, 2007

季刊 ゆとろぎ

発行：羽村市教育委員会／企画・編集：羽村市生涯学習センターゆとろぎ＋ゆとろぎ協働事業運営市民の会

謹賀新年

旧年中は格別のご支援をいただき
ここからお礼を申し上げます。
本年も変わらぬお引き立てを
お願い申し上げます。

1/13 (土)

新春雅楽

ほんものの雅楽がやってくる！

十二音会特別公演

【冬号の内容】

■新春メッセージ（4・5面）

初めての新年を迎えるゆとろぎからご挨拶。

■芸術鑑賞・展示事業（2面）

○山本邦山ジャズ・トリオ公演

○中根喜七郎コレクション展

■学習文化事業（6面）

○キーボードでバンドをつくろう！

○アートちよこつと体験教室

■新春放談…ゆとろぎの『ゆへんへん年』（7面）

市民の会のメンバーがゆとろぎの1年を振り返り、
今年、そして近未来の夢を語り合う。

■市民ボランティア奮闘記（8面）

昨秋、大反響を得た能面展・能楽公演の舞台裏で
活躍した市民ボランティアの喜びの体験談。

（シルクロードの朝日）

新・楽学遊空間

ゆとろぎホール

ゆとろぎにはクラシックコンサートも開催可能な大ホール（856席）と多目的に活用できる小ホール（252席）があります。どちらも舞台を身近に鑑賞することができます。ゆとろぎは「全席がS席」を合い言葉にコンサートや演劇など、市民のみなさんに喜ばれるイベントを提案します。

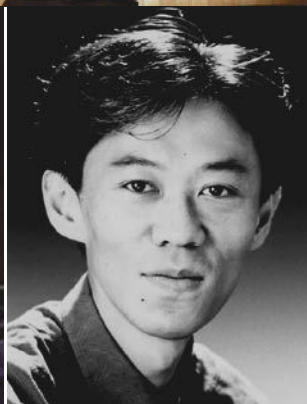
※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ ☎ 042-570-0707 へ



山本邦山（尺八・人間国宝）



佐藤允彦（ピアノ）



坂井紅介（ベース）

尺八と現代音楽のコラボレーション！

山本邦山
JAZZ TRIO

- 2月24日（土）開場 13:30 開演 14:00
- 生涯学習センターゆとろぎ大ホール（全席指定）
- 一般（前売り）3000円・（当日）3500円

※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

好評発売中

人間国宝・山本邦山が尺八に新たな血潮を与える。ジャズの名曲にのせて、ときにクラリネットのように、ときにテナーサクソスのように心地よい響きを生み出し、新鮮な感動を呼び起こす。まさにオトナのコンサート。

チケットはゆとろぎ・スポーツセンター・マルフジ各店・西多摩新聞社チケットサービス他で販売中。

演奏曲目
 ●いそしぎ
 ●TAKE FIVE
 ●SUMMER TIME
 ●枯葉
 ●オリジナル曲 ほか
 ※曲目は変更する場合があります。

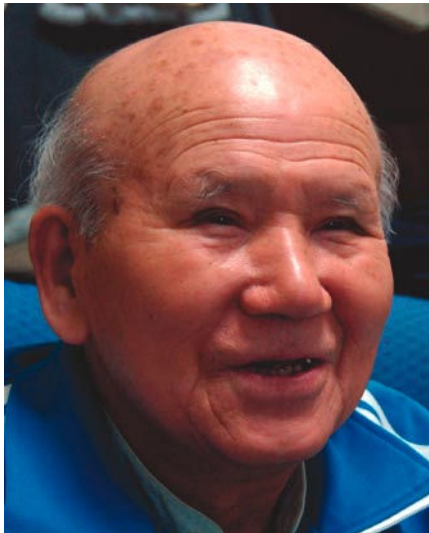
ギャラリー

ゆとろぎの展示室は羽村市内外の美術作家の作品はもとより市民アーティストの作品も含めて、年間を通してアートを展示するギャラリー空間です。市民のみなさんが気軽に本格的な美術作品に親しんでいただけるように企画をすすめています。

06年春、羽村市教育委員会に中根喜七郎（なかね・きしちろう）氏から約160点の絵画が寄贈された。羽村市では中根氏の厚意に感謝し、市民の貴重な美術財産として管理保存することになっている。

1971年、ある画廊で偶然に水彩の裸婦画と出会い魅せられた。なけなしの小遣いを叩いてこの絵を購入したのを契機に、多摩地区在住の画家による水彩画にこだわった。「自分の好きな作品を集めて世界で一番小さな美術館を開くことが夢」だったが、そのために「家族には迷惑をかけた」としんみり。一昨年、高齢と持病のため老人医療施設に転居することを決意し、「なによりも大好き」な収蔵作品を広く市民にも公開できるようにと寄贈した。

ゆとろぎギャラリー運営委員会は中根氏の「夢」に敬意と感謝を表して、寄贈コレクション展を開催します。早春の一日、羽村市民の美術財産をゆとろぎ展示室で鑑賞しませんか。



時の西多摩村（現羽村市）に生まれ、06年3月まで羽村市川崎に居住。幼い頃から図画工作が好きだったが、成人してからはいくつかの画廊巡りが楽しみとなった。画廊に通ううちに画家とも懇意になり、今でも手紙のやり取りをしているという。

中根喜七郎氏
寄贈コレクション展

- ゆとろぎ展示室
- 第1期 3月6日（火）～11日（日）
第2期 3月13日（火）～18日（日）
- 10:00～17:00（入場無料）
※6日のみ 13:30～17:00
※18日（最終日）は16:00まで



収蔵作品 水彩画『アムステルダム運河』千住喜八郎作

※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センターゆとりぎまで042-570-0707へ

2007 年新春特別企画



撮影・林陽一

残席あり

十二音会 特別公演

新春雅楽

1月13日（土） 開場午後1時30分・開演午後2時
生涯学習センターゆとりぎ大ホール（全席指定）
一般（前売り）3000円（当日）3500円
※未就学児童の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

2007年1月、羽村市生涯学習センター
ゆとりぎは雅やかな音色に彩られてスタート
です。日本の伝統芸術の一つ、「雅楽」が新年
を迎える大ホールの幕開けを飾ります。宮内
庁楽部所属の楽師を中心に、民間の演奏家も
加わって結成された「十二音会（じゅうにお
んかい）」総勢17名による、ほんものの雅楽を
身近に鑑賞できるまたとない機会です。新春
のゆったりとした時間を是非お楽しみくださ
い。残席が少なくなっていますので、入場希
望の方は、早めにゆとりぎへお問い合わせください。
ゆとりぎは1月4日から業務を開始しています。

めでとうございます。

応援します。本年もどうぞよろしくお願い致します。



ゆとりぎ協働事業運営市民の会



● 展示部会 (ギャラリー運営委員会)

展示室 (ギャラリー) に何度もご来場いただき有難うございました。心よりお礼を申し上げます。2007年も楽しいアートの世界にご招待いたします、ぜひ、ゆとりぎへお立寄りください。

● ゆとりぎ保育室 さくらんぼ

暖かいお部屋で、温かい保育をしていきます。子育て中のお母さんがゆとりぎでサークル活動や講座などに参加できるようにお手伝いします。安心してお預けください。

● 学習文化部会

12名のメンバーが生活にかかわる問題から芸術・趣味の講座まで幅広く企画運営しています。市民のみなさんに喜ばれ、役に立ち、もっともっと多くの方々がゆとりぎに来ていただける事業の企画運営をめざします。

● 情報発信部会

私たちは、ゆとりぎで行われる事業・イベントの情報を的確に、タイムリーに市民の皆さんに提供することを目指して更なる工夫・改善に努め、より親しまれ愛される情報発信活動に心がけて参ります。

● 芸術鑑賞部会

ゆとりぎの芸術鑑賞事業は時間と交通費のかからない「感動地元直行便」です。市民のみなさんの感動と喜びの思い出となるように、大・小ホールの特性を活かした鑑賞事業を心を込めてお届けします。

● ストの会

いただいたお客さん、今年もお客さんみただけのよたいただきます。

新春を迎えて 羽村市長 並木 心



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 昨年中は、市政運営にご理解とご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、昨年の4月1日以待望の「羽村市生涯学習センターゆとりぎ」が開館して、早や2年目を迎えることとなりました。この間、この施設は、学習・文化活動の拠点として、また、豊かな生活を育む場として、大勢の皆様にご利用いただき、多くの成果を上げることができました。

また、ホール並びに学習室等を利用した事業につきましては、協働事業運営市民の会を組織し、市民の皆様にも企画運営を担っていただき推進してまいりました。ここに、市民並びに団体の皆様、関係各位のご理解とご協力に對しまして、心から感謝を申し上げます。

なお、当施設は、まだスタートしたばかりでございます。今後は、これまで見えてきた諸課題に積極的に取り組み、また、利用者のご意見をお聞きしながら、市内外から「ゆとりぎ」が生涯学習施設のアイコンとして評価され、新たな羽村市の文化が築かれるよう努めてまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さらに、学習・文化活動を通じて学ばれた方々が、地域の中に戻り、学んだ成果を生かして、住みよい地域社会の形成に寄与していただければ幸いです。

結びに、「羽村市生涯学習センターゆとりぎ」のますますの発展と市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のメッセージといたします。

ゆとろぎ開館記念ビデオが 国際映像コンテストで 特別賞を受賞しました！



嬉しいニュースが飛び込んできました。ゆとろぎ開館記念式典（2006年3月25日）の冒頭で上映されたオープニングハイブリッド映像（レーザーとビデオの複合映像）『おめでとう！ゆとろぎ誕生』がITVA日本コンテスト2006（国際企業映像協会映像コンクール）において「社会貢献特別賞」を受賞しました。

同コンテストはビデオ映像を社会のコミュニケーション手段として普及し、質の向上を図ることを目的に設立されたNGO組織「ITVA-日本」（国際企業映像協会：International Television Association）によって毎年開催されています。企業・学校・組織だけでなく個人でも出品参加することができ、世界にも門戸が開かれています。また、作品の審査は上映会において審査委員と一般聴視者の投票によって決定されるユニークなコンテストとして知られています。

12月1日、銀座の時事通信社本社で表彰式が行われ、映像も協働製作、受賞も協働受賞で「ゆとろぎ」を全国にPRすることができました。製作にご協力くださった、市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

受賞作品はゆとろぎ館内で市民のみなさんに視聴していただけるよう準備いたしますので、ご期待ください。（村山利夫）

明けましておめでとう

ゆとろぎは市民の生涯学習を応援



● 植栽管理スタッフ

芸術鑑賞やサークル活動等でゆとろぎを訪れるみなさんに、気持ちよく訪れていただけるように、ゆとろぎに植えてある樹木の剪定・管理を行っています。ぜひ、四季折々の草花の表情もお楽しみください。

● 舞台サポート

ゆとろぎでのサロン・コンサート公演の舞台セッティングのおなど、スムーズな公演の潤滑油活躍します。

● 羽村レセプション

去年はゆとろぎホールにご来場いただき、たくさんのお会いがありました。皆様にご快活かつ安全に公演をお楽しみいただくため、心を込めてサポートさせていただきます。

新年 謹賀

ゆとろぎ協働事業運営市民の会は、羽村市生涯学習センターを拠点にした羽村市民の生涯学習活動を支援する有志の集まりです。志を同じくする人であれば、だれでも参加することができます。現在、特に展示部会（ギャラリーの受付係ほか）及び情報発信部会（情報紙・ホームページの編集など）で力を貸してくださる市民を求めています。もちろん、その他の部会への参加も大歓迎です。市民の会への参加申込み・お問合せはゆとろぎ事務局（☎042-570-0707）まで遠慮なくお申込みください。

羽村市文化協会会長 今井 大宰

謹んで新年のお祝詞を申し上げます。

今年、羽村市文化協会は3年目の春を迎えました。文化協会の加盟団体は、美術・工芸部門12団体と1連盟、音楽部門24団体、舞踊部門12団体、演劇部門1団体、生活文化部門5団体と2連盟の54団体と3連盟で構成しております。昨年、文化協会主催・後援事業を催しました。展示部門では、美術・工芸展を3回。ホール発表部門では、音楽部門のコンサート、舞踊部門の舞踊の会、演劇部門ではマジックの会など11回。ロビー・交流広場を利用してサロンコンサートを2回開催しました。創る喜び、発表する喜びを実感するとともに、多くの市民の皆様にご鑑賞、ご観覧いただきました。

今年も加盟団体及び市内文化団体等と連携して、芸術文化事業を企画・実施します。また、羽村市生涯学習センターとも協力し、芸術文化の普及・向上につとめ芸術文化の振興に寄与してまいります。

アカデミア

『ゆとろぎアカデミア』は市民の学習のための空間です。暮らし・生活・地域問題講座から一般教養講座に至るまでさまざまなテーマの学習講座を提案して参ります。

団塊世代の音楽ファンよ、ゆとろぎに集まれ！

キーボードで バンドを作ろう

―結成準備会の呼びかけ―

新年明けましておめでとうございます。本年もゆとろぎアカデミアをどうぞよろしく願います。

さて、年が明けていよいよ2007年を迎えました。世間では「2007年問題」と称して、われわれ団塊世代の定年後をあれこれと心配しているようすが、定年後、大好きな会社勤めを続けるもよし、心機一転新たな挑戦を始めるもよし。いずれにしても、人生に一区切りをつける絶好のチャンス。頑張つて来た自分へのご褒美として、これからは少しだけ、自分の時間を大切にしようではありませんか。

そこで、ゆとろぎは団塊世代のみなさんにキーボード・バンドの結成を呼びかけます。電子楽器のキーボードを武器に、ロックあり、フォークあり、クラシックあり、志を同じくするもの同士が気の向くままに、音楽を楽しみながら交流を図ろうという趣旨です。

参加資格は「気持ちは若い団塊世代の男性」としますが、絶対参加したいという熱意があれば年代・職業は問いません。ただし、夜の練習も予定されますので成人のみとします。キーボードのない方でも参加可能。キーボードが押し入れで冬眠している人は大歓迎

です。キーボードに触ったことのない人も両手演奏ができない人も心配無用です。専任講師が1年間みっちり鍛えてくれます。まずは、2月中旬に準備委員会を結成します。ここで発足に向けた準備検討を行い、準備が整ったところで結団式（4月を目標）、という大アバウトな予定を一気呵成に突き進みたいと思います。先人曰く、「千里の道も一歩から」と。目指すは日本一の中高年バンド。

キーボード・バンド結成に参加したい方・興味のある方は、勇気を出してゆとろぎ事務局へお申し込みください。

サロン

ゆとろぎ工房 平成18年度講座作品展

- 2月24日（土）～3月3日（土）
10:00～17:00（入場無料）
- ゆとろぎ展示室

ゆとろぎでは昨年4月の開館以来、市民のみなさんのご希望・ご要望も受けて、さまざまなジャンルの創作講座を開催してきましたが、早いもので一年を迎えようとしています。そこで、一年の区切りとして、受講生による作品展を開催致します。各講座は今年度も引き続き開催されますが、いわば「ゆとろぎ工房第1期生」ともいえる方々がこの一年間に学んだ、陶芸・絵画・押し花アー

『ゆとろぎ工房』は市民が講師となって市民に教え合うことを基本に、趣味や実用の講座を提供して行きます。講座のジャンルも順次拡大し、市民のみなさんに幅広くお役に立てる『ゆとろぎ工房』を目指します。

ゆとろぎ工房

新講座（平成19年度開講予定）
『ちよこつと体験工房』を
いっしょに企画しませんか

企画ボランティア募集Ⅱ

ゆとろぎ開館以来、ゆとろぎの創作講座『ゆとろぎ工房』では、定番の陶芸教室を筆頭に、水彩画・油絵・生け花・押し花アート・パソコン講座など、さまざまなジャンルの趣味・実用講座を開催し、多くの方々にお楽しみいただいています。

いろいろなジャンルの創作活動を幅広く体験していただくという企画です。「趣味を持ちたいけれど何をしたらよいのかわからない」「あるいは「どんな創作活動があるの?」と悩んでいる方や「ほかにもいろいろチャレンジしてみたい」と思っている方に最適です。きつとあなたの希望に合った「なにか」と出会えるはずです。まずはともかく始めて見ま

せんか? そこで、4月からの開講を前にゆとろぎのスタッフとともに、この講座を企画運営していただける方を募集します。あなたの「やりたいこと」「やってみたいこと」をいっしょに実現しましょう。「我こそは」と思う方は、ゆとろぎの事務局まで電話でお申し込みください。後日、詳細をご紹介します。

新・春・放・談

行政と市民の「協働」という新しい形で運営されている羽村市生涯学習センターゆとろぎ。その事業開始から関わってきた「ゆとろぎ協働事業運営市民の会」のメンバーが開館一年目の激動の2006年を振り返り、07年の抱負を語る。（取材：江久保千英）

試行錯誤の一年

2005年の夏に『生涯学習施設の運営を行政と「協働」で担ってくれる市民募集！』の呼びかけに名乗りを挙げて集まったメンバーが、いま市民の会として各部会で活動しているわけですが、当初はわからないことだらけで大変でした。

「単発の事業なら、そのときの熱意とパワーで乗り切っていくけれど、年間を通じて継続的に関わっていくとなるとそれ相應の覚悟がいりますよね。『ゆとろぎ』で、市民のために、市民の立場に立つて、いろんな事業をやってくださ

い」というのが我々に与えられた使命なわけで、個人の趣味に偏つてもいけないし、従来の行政の発想とはひと味違う事業を打っていききたいという思いもあるし。

市民の力をリレーで

「ゆとろぎの運営に市民が関わることはどういうことか」と考えたとき、特定の個人の力だけに依存していたのでは、息長く続けていくことは難しいと思うのですが。

「運動会で『大玉送り』という競技があるでしょう。われわれがその大玉をどこまでも落とさずに送って行く、その一本一本の腕になる、という感覚かな。みんなの力で動かしてい



つく。複数の人間が一緒に活動していく中で、技術的なこと、積み上げた経験を共有し、橋渡しをしていくことも。初めは勝手がわからなくても、参加しているうちにこんなことができるようになった、とか、市民の会に入

った活動することが、各人のスキルアップやさまざまな人との出会い、というようなこととして、金銭的な報酬ではなくても豊かな財産として個人に返ってくる。そういうふうだということ

「芸術鑑賞部会は、運動会というなら『バトンリレー』かな。事業ごとの責任者が必死になつてバトンを持って突っ走る。もちろんそれをサポートし、応援する仲間もいる。ひとりの力ではできない事業を、素人でもやり遂げることができた、という達成感であり充実感、感動。それが独りよがりなものでなく、お客さんや参

加してくれた市民の感動にもなる。それを共有できる喜び。その熱い思いを託して、また次の事業の責任者にバトンを確実に渡す。コンスタン

トに運営していくためには、信頼してバトンを渡せる仲間がいないと続かない。だから、新しい人にどんどん入ってきてほしいですね。

ゆとろぎの「ゆく年くる年」

良質な事業を

「よくも悪くも、ゆとろぎの事業は観客・参加者の数で評価される側面がありますよね。それが『手応え』にもなっているのですが、手応えを直接に感じにくい部門もある。」

「そうですね。情報発信部会

が、さて、そうやって発信したものが、どこの誰にどれだけ届いているのか、それさえ不確かなんですね。反応が確かめられないんです。その中で、それぞれの担当者が、より多くの人に見てもらえるものを、と頑張っているわけ

「ここへきてやっと市民の会のホームページができたし、インターネットで情報を配信



ゆとろぎの事業は生涯学習課と市民ボランティアの「協働」で企画運営されています。（イラスト・笠原優子）

する道筋が開けようとしている。羽村市民だけでなく、「電車賃を払ってでもゆとろぎに行こう！」と思わせる、魅力ある事業を展開したいですね。

「学習文化部会はいろんな講座を考えて、講師の選任から依頼を行って、その講座にどれだけの人が参加してくれるかとい

うのはすごく心配なわけですよ。単純だけど、予想以上に受講申込みがあれば嬉しいし、少な

「そのとき満席にならなかつたとしても、少人数にでも本物の深い満足を与えるものをやっ

ていくこと、それが大事だと思う。人それぞれに好み・関心が違うのだから、単純に受講者・観客の「数」だけで判断すべきではないと思うのですが…。」

「いろんな人の、いろんな興味関心にヒットする企画、真に求められる良質なものをバラエ

ティー豊かに打ち出せたらいいですよ。外から見ている人たちにも、「ああ、ゆとろぎって

いろんなジャンルのことをやっていて、それぞれが市民の興味関心にわたるようなことをやろうと考えているね」という評価

「10月の能面展・能楽公演はゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

す。全館を使った事業展開の成果だと思っんです。

「四つの部会が連携して、まさに《ゆとろぎの総力を挙げて》というのが実現できて、よかったですよ。ひとつの足がかりができたと思っん

「それは、『能鑑賞』の足がかりではなくて『ゆとろぎの今後』への足がかりです。全

体の知恵と力を結集することで、こうしてお客さんは継続して入ってくる、という実感。

「あのプロジェクトは、新井達矢さんという地元

の存在を核に作っていったとい

「そのとき満席にならなかつたとしても、少人数にでも本物の深い満足を与えるものをやっ

ていくこと、それが大事だと思う。人それぞれに好み・関心が違うのだから、単純に受講者・観客の「数」だけで判断すべきではないと思うのですが…。」

「いろんな人の、いろんな興味関心にヒットする企画、真に求められる良質なものをバラエ

ティー豊かに打ち出せたらいいですよ。外から見ている人たちにも、「ああ、ゆとろぎって

いろんなジャンルのことをやっていて、それぞれが市民の興味関心にわたるようなことをやろうと考えているね」という評価

「10月の能面展・能楽公演はゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

「ゆとろぎの真骨頂だっと思

ゆとろぎ
クラブ

「ゆとろぎクラブ」はゆとろぎと市民のみなさんが交流するための空間です。事業についての感想・意見もOK。事業のリクエストも大歓迎。あんなことこんなこと、わいわいがやがや、市民のみなさんからの投稿もお待ちしております。

舞台裏

市民ボランティア奮闘記

応募した動機は？

小嶋 息子が新井達矢さんと幼なじみだったこともあって、お手伝いできればと思っ
たんです。最初は、募集要
項に「高校生以上」ってあつ
たので、若い人中心なのだと
思って応募しなかったん
です。でも、ある人から応募者
が少ないらしいと聞いて、そ
れじゃ行ってみようかと。

西村 実は、羽村に住んで
まだわずか5ヶ月でして、季
刊ゆとろぎ夏号の能面の写真
を見た瞬間に「なんて素敵
なお面なんだろう」と感動し
たんです。そして、その下
にボランティア募集の記事
がのってまして、「これは直

に本物を見なければ」と思っ
て。最初の参加者がこの3人
で、「え、これだけなの？」
とちよつとがっかりしました
（笑）。

新井 今回、大々的な展覧会
を開いて頂けるようなので、
父親としては黙って眺めてい
る訳には行かないと思いまし
てね。息子には内緒で応募し
たんです。後で怒られちゃい
ました（笑）。

印象に残ったことは？

小嶋 最終日のことでした
か、お年寄りの女性が二人み
えて、図録が欲しかったので
すが、全部売り切れてしまっ
てね、申し訳なくてポスター

を差し上げたんですが、寂し
そうで残念なことをしてしま
いました。

新井 外国人も来てまして
ね。ホームステイをしている
人らしくて、テレビを見て飛
んで来たと。ほんとに、あり
がたいですよ。神奈川とか
千葉とかからも。

小嶋 岩手県から来たとい
う人もいましたし、八丈島から
も。

西村 どちらからとは聞きま
せんでしたが、「テレビを見
てどきつ」として、見に行か
なきやと思つて来た」という
女性がいきましたよ。テレビの
影響もあるとは思いますが、
やっぱり新井さんの能面の力

ですよ。

参加した感想は？

新井 感謝の一言ですね。

西村 このイベントに関わつ
て、心の底からよかったと
思つてます。たくさんの人と
感動を共有できて、知り合
いもできたし。

小嶋 遠くからたくさんのお
客さんが見に来てくれて、最
終日なんてびつくりしたとい
うか、感動しました。とにか
く、人が溢れてましたからね。
西村 苦労なんて全然感じな
かったですよ。非常に楽し
かった。充実感だけです。小嶋
苦労なんてぜんぜん。小嶋
ほんとに楽しかったです。こ

のイベントをきっかけに羽村
を知ったという人がたくさん
いたんですね。画一的なこと
でなく、羽村独特のことをや
れば街は活気づくのだと思
いましたね。

西村 市民の会という運営
方法はとてもいいと思いま
した。みなさんが「自分たち
で作っている、自分たちで運
営している」という良い意味
での自負を持つていらつし
やるんですよ。これはよ
い運営方式だと思います。
「ゆとろぎ方式」を他市も真
似すべきだと思います。羽村
に住んでよかったと思つてい
ます（笑）。

〈終〉



能面展と能楽公演を知らせる『季刊ゆとろぎ夏号（2006年7月発行）』。右下に「市民ボランティア募集」の記事がある。



打ち合わせ会議は8月からスタート。平日夜間の会議がほとんどにもかかわらず、毎回熱の入った議論で盛り上がった。



能面作品展ではギャラリートークを開催。新井達矢氏本人の話が聞けるとあって岩手県から駆けつけた能面ファンも含め会場は超満員に。



能面展と同時開催の記録映画『面打（めんうち）』の上映会には、小ホールに入りきれない観客がでるほどの人気。急遽、別室にモニターを用意。

【編集室から】明けましておめでとうございます。「ゆとろぎ」が開館してもう直ぐ一年。生涯学習センターの職員も市民の会もまさしく激動の2006年でしたが、市民のみなさまの暖かい励ましで新しい年を迎えることができました。あらため感謝申し上げます▼開館2年目を迎える4月以降は、昨年の経験も踏まえて、更に充実した事業が企画されています。「ゆとろぎらしさ」を追求しながら、一人でも多くの市民のみなさまとの出会いと感動・喜びの共有を目指します▼その一環として、市民の会のホームページが立ち上がりました。電子媒体の利点を活かして、月刊・季刊ゆとろぎでは伝えきれなかった情報やアーカイブがご覧になれます。羽村市のホームページから「市民の会」では是非アクセスしてみてください▼今年の干支は「亥」。「亥」の一直線な勇気を見習い、猛進ならぬ邁進したいと思えます。本年も「ゆとろぎ」をどうぞごひいきください。

季刊ゆとろぎ ● 冬号

2007年第1号通巻4号
2007年1月5日発行

発行 ■ 羽村市教育委員会

企画 ■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ
編集 ■ ゆとろぎ協働事業運営市民の会

〒205-0003

羽村市緑ヶ丘一丁目五

042-570-0707

http://www.city.hamura.tokyo.jp

印刷 ■ (株) 東光社

東京都北区東田端一丁目二

編集に携わった人 ■ 江久保千英／笠原優子／

関沢和代／日下田まや／平田栄一／船橋

瑛／古澤義隆／村山利夫／山本豊／渡部

清孝／羽村市教育委員会生涯学習課

写真 ■ 平田栄一／村山利夫

協力 ■ 羽村市文化協会

無断転載をお断りします。

Copyright © 2007 by YUTOROGI

All rights reserved.